

## 「北海道総合計画」出前講座の実施状況について

### 1 目的

多くの道民の皆様、「北海道総合計画」への理解を深めていただくことを通じ、北海道の現状・課題や政策について知っていただくとともに、北海道の将来や未来の地域づくりなどについて考え、ともに行動する機会としていただくことを目的として実施。

### 2 実施内容

- ・ 地域の学校（高校、大学等）や団体等の申し込みに応じ、道職員が北海道総合計画を説明。
- ・ 実施内容は申込者の希望に応じ調整しており、北海道総合計画の解説のほか、計画に基づく具体的な道の取組（事業）の紹介や、計画に掲げる「7つの将来像」の実現に向けた方策を考えるワークショップなどを実施。

### 3 平成28年度の実施状況

区分	学校・団体数	出席者数
高校	14	1,223名
大学・高専	5	234名
団体・企業等	12	279名
合計	31	1,736名

※ 実施先等の詳細及び実施例は別紙のとおり。

※ 出前講座の実施結果については、施策・事業の検討・推進の参考として庁内各部署に情報提供を行っている。

### 4 平成29年度の実施について

日付	学校・団体名
4月21日	伊達高校
6月1日	国土交通省北海道開発局
6月26日	小樽商科大学
7月10日	
7月11日	旭川工業高等専門学校
7月22日	奥尻高校
7月25日	北海道教育大学函館校

※ 平成29年6月8日時点での実施状況及び実施予定。

※ 伊達高校、小樽商科大学は今年度内に複数回の実施を予定。

## 平成28年度北海道総合計画出前講座 実施状況一覧

<b>■高校</b>	14校	1,223名	}	合計 1,736名
<b>■大学・高専</b>	5校	234名		
<b>■一般</b>	12団体	279名		

日付	学校・団体名	出席者数	備考
5月19日	北見工業大学 工学部	67	3年生講義
5月23日	北見市役所	61	
6月 1日	国土交通省北海道開発局	13	
6月 6日	北海道教育大学教育学部札幌校	10	3・4年生ゼミ
8月 1日	釧路市女性団体連絡協議会	11	
8月 9日	伊達商工会議所	19	
8月23日	留萌町村会	26	
9月12日	北海道地方労働組合生産性会議	14	
9月15日	稚内信用金庫	15	
9月21日	稚内商工会議所	20	
9月28日	月形高校	52	3年生授業
10月 5日	池田高校	11	3年生授業
10月 6日	ニセコ高校	28	3年生授業
		19	2年生授業
10月13日	北海高校	39	3年生授業
10月13日	北海道砂利工業組合	15	
10月18日	小樽商科大学 商学部	57	3・4年生講義
10月20日	北海道看護協会	44	
10月24日	北海道生産性本部	13	
11月 1日	札幌日大高校	72	2年生授業
11月15日	旭川大学 経済学部	37	2～4年生ゼミ
11月17日	伊達高校	43	3年生授業
11月24日	登別青嶺高校	34	3年生授業
11月25日	中標津高校	95	3年生授業
11月29日	遠別農業高校	19	3年生授業
12月 1日	札幌日大高校	81	1年生授業
12月15日			
12月 6日	苫小牧総合経済高校	30	3年生授業
12月13日	旭川工業高等専門学校	63	4年生講義
12月14日	稚内高校	581	全校集会
12月20日	拓北あいの里ケア施設町内会	28	
12月21日	静内高校	42	2年生授業
12月22日	旭川永嶺高校	33	3年生授業
3月23日	美唄聖華高校	44	1年生授業

# 北海道総合計画出前講座の実施例（平成28年度）

## 北海道池田高等学校

- 開催日時 平成28年10月5日（水）9：05～10：55
- 実施形態 3年生「政治・経済」の授業で実施
- 出席者数 11名（うち生徒8名）



実施内容	実施結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道総合計画に関する講義</li> <li>「十勝圏地帯政策開発基金」及び「方基金」に基づく取組に関する講義</li> <li>以下のテーマでワークショップを実施</li> <li>テーマ①「観光」 ～ひがし北海道における観光周遊モデルプランの作成</li> <li>テーマ②「地域経済」 ～地元特産品の高付加価値化やブランド力強化方策の検討</li> </ul>	<p><b>●ワークショップの結果</b></p> <p>【テーマ① 観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアや東南アジアからの観光客をターゲットとする、ひがし北海道（十勝、オホーツク、釧路根室振興局地域）の「秋」又は「冬」を3泊4日で周遊するモデルプランを作成。</li> <li>帯広空港入、女満路空港出のモデルコースを作成。宿泊地は十勝川温泉、阿寒湖、女満路湖。</li> <li>具体的な地名や店名をあげ、どこで、何を行う（食べる）のかを考えた。</li> <li>例：夏「知床峠で北方領土と美しい景色を眺める」、冬「釧路温泉でワカサギを釣り、揚子で酒のつまみをする」など</li> </ul> <p>【テーマ② 地域経済】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十勝の食資源の付加価値を高めるため、「生産・加工」、「流通・消費」の各段階で、どのような取組が考えられるか検討。</li> <li>「牛乳」と「ゆりね」をメイン商品に設定し、この加工品、料理メニュー等の開発や地域における消費・販売方法、国内外への販路開拓方法について考えた。</li> <li>例：土産品「ゆりシュー」を開発し、販売促進策として冷凍して半解凍でも食べられるようにするなど</li> </ul>

## 北海道中標津高等学校

- 開催日時 平成28年11月25日（金）13：25～15：15
- 実施形態 3年生「政治・経済」の授業で実施
- 出席者数 95名（うち生徒90名）

実施内容	実施結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道総合計画に関する講義</li> <li>7つの将来像の実現に向けた北海道庁の具体的な取組の紹介</li> <li>根室地域の地域づくりに関する講義</li> <li>総合計画に関する意見の発表</li> </ul>	<p><b>●総合計画に関する意見（良かった政策、良くなかった政策）の主なもの</b> 生徒が総合計画を事前のグループワークで学習し、当日、グループごとに意見を発表。</p> <p>【良かった政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生活・安心」～私たちの世代に関係するので、子育てのしやすい環境への政策に関心があるため。</li> <li>「安全・安心社会」～高齢者が徒歩や自転車で買い物に来て重い荷物を持っているところを見かけるため、商品追加や宅配サービス等の支援が良い。</li> <li>「食の安全性・信頼性の確保」～多くの人に北海道の生産物を好んで食べてもらうことができるから。</li> <li>「スポーツ合宿を通じた交流人口の拡大」～自分達もスポーツをしているので、良いなと思った。</li> </ul> <p>【良くなかった政策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「防災教育の推進」～実際に被災したことがある人が少ないため、災害に対する意識が低い。</li> <li>「北方領土の早期返還に向けた取組の推進」～どこまで進んでいるか私たち市民に伝わっていない。</li> <li>「まんが・アニメ王国ほっかいどう」の積極的な発信～あまり浸透していない。</li> <li>「基幹的な交通ネットワークの充実」～費用の問題などで（JR）の駅が廃止になっている。</li> </ul>

## 札幌日本大学高等学校

- 開催日時 《講義》 平成28年12月 1日（木）13：25～15：15  
《ワークショップ》 平成28年12月15日（木）13：25～15：15
- 実施形態 1年生「探求基礎」の講義で実施
- 出席者数 81名（うち生徒77名）

実施内容	実施結果の概要
<p>《講義（12/1）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道総合計画に関する講義</li> <li>7つの将来像の実現に向けた北海道庁の具体的な取組の紹介</li> </ul> <p>《ワークショップ（12/15）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画に示す「7つの将来像」以外の「8つめの将来像」の具体的な姿と実現に向けた取組を「生活・安心」、「経済・産業」の視点から考える</li> </ul>	<p><b>●ワークショップの結果（「8つめの将来像」とその実現に向けた取組の主なもの）</b> 全13班が発表。主なものとして、以下のような将来像の提案があった。</p> <p>【将来像：道民だけでなく、他の地域の人々をもにぎやかにする北海道】</p> <p>&lt;将来の具体的な姿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老若男女を問わず楽しめる</li> <li>アイヌ文化の衰退を阻止</li> <li>観光客や資金の増加</li> </ul> <p>&lt;取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化が楽しめるテーマパークづくり</li> <li>アイヌ伝統の歌を現代風にアレンジしてみる</li> <li>収穫祭等を開き自然に触れる機会をつくる など</li> </ul> <p>【将来像：小さな町の活性化・グローバル化】</p> <p>&lt;将来の具体的な姿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町全体のバリアフリー化</li> <li>外国人と日本人が混じって通う学校</li> <li>交通機関の充実、雇用の確保</li> </ul> <p>&lt;取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人と日本人に対応した学校づくりによるグローバル人材の育成</li> <li>住宅地・ショッピングモールの建設</li> <li>スロープの整備、除雪ボランティア</li> </ul> <p>【将来像：地方の活性化】</p> <p>&lt;将来の具体的な姿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロープウェイの普及（移動手段のない地方）→排気ガス、交通事故がなくなる</li> <li>物をすばやく運べる、観光振興</li> </ul> <p>&lt;取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帯広や旭川等の主要都市を拠点に道内にロープウェイを普及させる</li> <li>ロープウェイを工事・運営する人を雇用</li> </ul> <p>【将来像：新世代食料基地】</p> <p>&lt;将来の具体的な姿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職時の収入安定、地方の活性化</li> <li>農業等の後継者不足問題の解決</li> </ul> <p>&lt;取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業・水産業の学校に入る人には奨学金を出す</li> <li>農業等をしている人に一般の人がお金を出し、損にならないよう道が保証する</li> </ul>


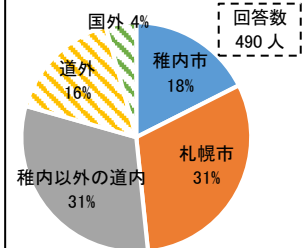
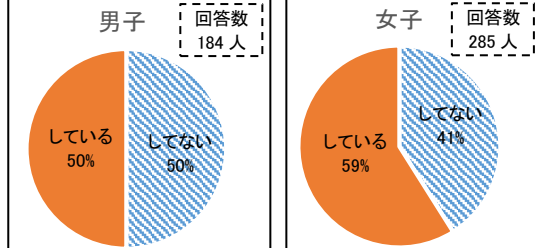
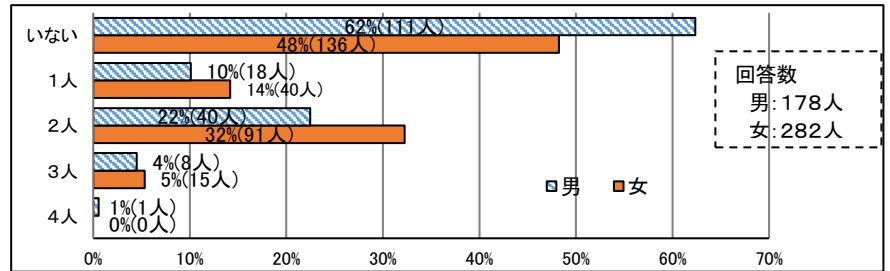


## 北海道稚内高等学校

○開催日時 平成28年12月14日(水) 13:30~15:00

○実施形態 全校生徒(普通科、商業科、衛生看護科)

○出席者数 581名(うち生徒551名)


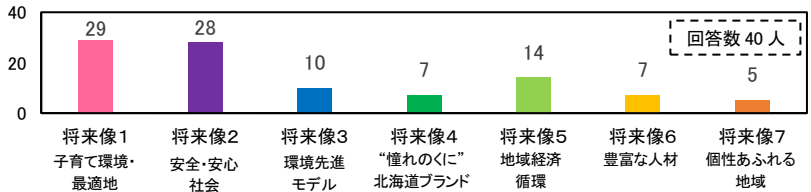
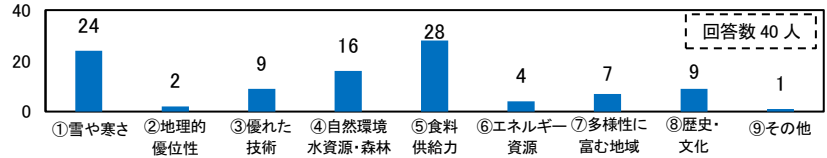
実施内容	実施結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道総合計画に関する講義</li> <li>「道北連携地域政策展開方針」及び方針に基づく取組に関する講義</li> <li>クイズ「SOYA」をもっと知ろう!</li> <li>生徒に対し事前に行った「未来アンケート」の実施結果の発表</li> <li>7つの将来像の実現に向けた北海道庁の具体的な取組の紹介</li> <li>稚内高校卒の道職員への特別インタビュー など</li> </ul> 	<p>●「10年後の自分」に関するアンケートの結果</p> <p>Qどこに住んでいるか？</p>  <p>Q結婚しているか？</p>  <p>Q子どもは何人いるか？</p> 

## 北海道美唄聖華高等学校

○開催日時 平成29年3月23日(木) 10:45~12:35

○実施形態 1年生「地理・歴史」の授業で実施

○出席者数 44名(うち生徒40名)

実施内容	実施結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道総合計画に関する講義</li> <li>生徒に対して事前に行った「北海道総合計画に関するアンケート」の実施結果の発表</li> <li>7つの将来像の実現に向けた北海道庁の具体的な取組の紹介</li> <li>以下のテーマでワークショップを実施～仮想のまち「A市」の「めざす姿」を実現するため、「①生活・安心」、「②経済・産業」の分野における地域の課題解決策や資源の活用策を考える</li> </ul> 	<p>●「10年後の自分」に関するアンケートの結果(回答数40人)</p> <p>Qどこに住んでいるか～「札幌」50.0% 「空知管内」5.0% 「札幌・空知管内以外の道内」22.5% 「道外」22.5%</p> <p>Q結婚しているか～「している」52.5% 「していない」47.5%</p> <p>Q子どもはいるか～「いる」40.0%(「2人」が最多) 「いない」60.0%</p> <p>●特に重要だと思う将来像は？(北海道総合計画に掲げる7つの将来像)</p>  <p>●活かすとよいと思う北海道の「価値」や「強み」は？</p>  <p>※将来像や北海道の「価値」等については、生徒の身近な事項(「子育て」、「安全・安心」、「食」、「雪・寒さ」、「自然環境等」)に関心が高い傾向が見られる。</p> <p>●ワークショップの結果(地域の課題解決策の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生活・安心」～「訪問医療やインターネットでの診察を充実させる」「(地域の)その学校にしかない魅力をつくる」など</li> <li>「経済・産業」～「有名なYouTuberに農業体験をしてもらい、その様子を紹介してもらう」「就職後、A市に戻る場合は、通う予定の高校や大学の授業料を半分道が支給する」など</li> </ul>